

地球環境に優しい富士通の病院情報システム 中央診療部門ソリューション HOPE/DrABLE-EX



病院における現状の課題

- ・フィルムの大量排出／現像費用大
- ・フィルムの搬送人員の確保
- ・フィルム保管庫の増大
- ・フィルム検索時間が増大
- ・フィルムの劣化、紛失、取り違いのリスク
- ・フィルム読影時に発生するフィルム取出し作業、シャーカステンへのセット作業 etc...



病院全体のシステム化が解決の糸口

情報共有・フィルムレス・原材料費削減を実現する 診療画像ソリューション

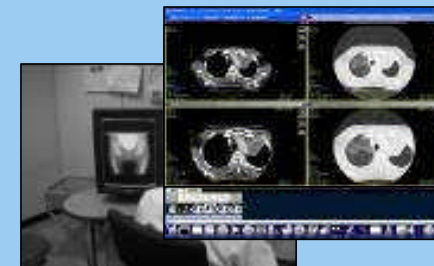


HOPE/DrABLE-EX



フィルムレス環境の実現

- ・フィルム代、現像コストの大幅減
- ・フィルム保管場所ならびにフィルム検索時間の削減
- ・遠隔画像診断等の地域医療連携への基盤作り



フィルムレス環境を実現し効率的で安心の医療を提供

期待される効果

富士通がご提案する中央診療部門ソリューション「HOPE/DrABLE-EX」は環境貢献を強く意識しています。導入前後によるCO2排出量について試算を行い、20%のCO2削減が見込めるソリューションとして、富士通の「環境貢献ソリューション」に認定されております。

試算期間：1年間

HOPE/DrABLE-EX
環境試算結果

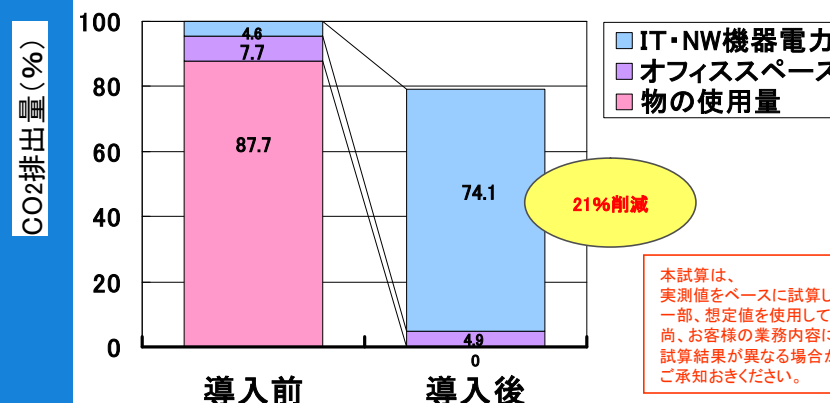
影響要因	基礎データ		CO2換算値(kg)		効果
	導入前	導入後	導入前	導入後	
1 物の使用量			145,523	0	-145,523
・フィルム	27.4万枚/年	0枚/年			
・現像液、定着液	695.6万円/年	0円/年			
・フィルム袋	2.1万袋/年	0袋/年			
・フィルムラベル	2.1万枚/年	0枚/年			
2 オフィススペース			12,781	8,202	-4,579
・作業工数	76.2人月	30.6人月			
・フィルム保管スペース	73.8㎡	0㎡			
・機器スペース	3.0㎡	69.1㎡			
3 IT・NW機器電力			7,662	123,063	+115,401
・サーバ等	19.7kwh	267.9kwh			

環境負荷(kg-CO2)
導入前比: -21%

計: -34,701

HOPE/DrABLE-EX

※700床規模の病院における試算結果



本試算は、実測値をベースに試算しておりますが、一部、想定値を使用しております。尚、お客様の業務内容により、試算結果が異なる場合があります。ご承知おきください。

富士通はお客様の抱える課題を解決すると共に
地球環境を考える企業としてこれからも製品開発に取り組んで参ります。